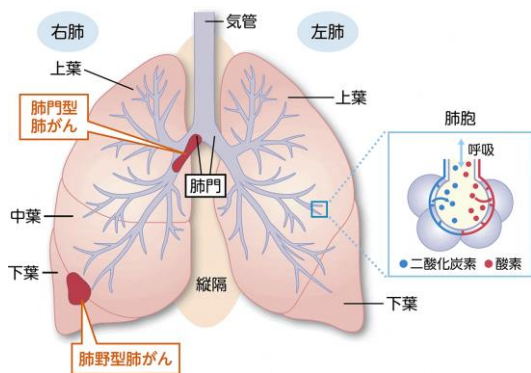


主な肺がんの組織型とその特徴

	組織分類	多く発生する場所	特徴
非小細胞肺がん	腺がん	肺野	・肺がんの中で最も多い
	扁平上皮がん	肺門 (肺野部の発生頻度も高くなってきている)	・咳や血痰などの症状があらわれやすい ・喫煙との関連が大きい
	大細胞がん	肺野	・増殖が速い
小細胞肺がん	小細胞がん	肺門・肺野 ともに発生する	・増殖が速い ・転移しやすい ・喫煙との関連が大きい



内科・循環器内科・リハビリテーション科

森 医 院

<http://www.moriiin.com/>

〒500-8322 岐阜県岐阜市香取町 3-48 TEL : 058-251-4452

院長のブログ

<http://blog.livedoor.jp/moriiin5656/>

ケータイ版はこちら→



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/
午後 4:00~ 7:00	○	○	○	/	○	/	/

森医院通信

やまいのはなし

2023年11月号

Pickup!

腫瘍マーカー

腫瘍マーカーとは、がんが産生する特殊な物質や、がん細胞に反応して正常な細胞が産生する物質を指し、血液検査などで測定します。肺がんの主な腫瘍マーカーとしては、小細胞肺がんではNSEとProGRP、非小細胞肺がんでは、CYFRA21-1、SCC抗原、CEA、SLX、CA125が使われています。

腫瘍マーカーというと、これでがんを見つけることができると誤解されている方が多いと思いますが、現在腫瘍マーカーでがんの発見につながるのは、前立腺がんのPSAだけで、その他の腫瘍マーカーの測定は、がんを発見するためではなく、これらの物質を測定することにより、がんの進み具合やがんの性質、治療効果などを調べるために行います。